

Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度		2023年度	開講キャンパス	都城キャンパス	開設学科	子ども教育学科				
科目名称	乳児保育 I					授業形態	講義			
科目コード	750165	単位数	2単位	配当学年	2	実務経験教員		アクティブ ラーニング	○	
担当教員名	児玉 裕美								ICT活 用	
授業概要	<p>乳児保育では、はじめに「乳児保育の理念と歴史の変遷及び役割等」について学ぶとともに、「保育所、乳児院等における乳児保育の現状と課題」について理解していきます。次に、乳児保育施設の役割や、保育所保育指針を踏まえて、「3歳未満児の発育・発達について学び、健やかな成長を支える3歳未満児の生活と遊び」について、事例等を踏まえて理解し、保育のあり方や保育士としての役割や姿勢を理解し、乳幼児保育の基本を学んでいきます。</p> <p>さらに、保育実習を見据えて、「乳児保育の計画の作成」や、「保育の内容や方法、環境構成や観察・記録等」について学びます。最後に、乳幼児保育を担当する保育士として求められる保育実践力を養うために、保育教材づくりや乳児モデル（人形）を用いた演習課題に取り組みます。</p>									
関連する科目	保育者論、子ども家庭支援論、乳児保育Ⅱ、子育て支援									
授業の方法と進め方	<p>毎回の授業にて、アクティブラーニング型授業を展開します。1回の授業の構成は下記の通りです。</p> <p>授業の前半では知識・理解の獲得に向けて、「法的位置づけ」や「学術的な根拠（子どもの発達段階の特徴など）」について講義します。後半では汎用的技能の育成に向けて、グループディスカッションやペアワーク、課題解決・探求学習等にて、前半の学びを深めるとともに、レポートやプレゼン等にて自分の考えを表現します。</p>									
授業計画【第1回】	1. 乳児保育の理念と意義									
授業計画【第2回】	2. 乳幼児保育の基本									
授業計画【第3回】	3. 保育所における乳児保育の現状と課題									
授業計画【第4回】	4. 乳児院・家庭的保育・小規模保育における乳児保育の現状と課題									
授業計画【第5回】	5. 乳児や家庭を取り巻く環境と子育て支援の場									
授業計画【第6回】	6. 乳幼児期の心身の発達									
授業計画【第7回】	7. 乳児保育における基本的な援助やかかわり									
授業計画【第8回】	8. 6か月未満児の発達過程と保育内容									
授業計画【第9回】	9. 6か月から1歳3か月未満児の発達過程と保育内容									
授業計画【第10回】	10. 1歳3か月から2歳未満児の発達過程と保育内容									
授業計画【第11回】	11. 2歳児の発達過程と保育内容									

授業計画 【第12回】	12. 乳児保育の計画と記録と評価
授業計画 【第13回】	13. 乳児保育と環境（人的環境）
授業計画 【第14回】	14. 乳児保育と環境（物的環境）
授業計画 【第15回】	15. 乳児保育における保護者・関係機関との連携
授業の到達目標	1. 乳児保育の意義・目的を学ぶ。乳児保育をめぐる現状を踏まえ、乳児保育の役割と機能を理解できる。 2. 3歳未満児の発育・発達・遊びについて理解できる。 3. 乳児保育を担当する保育士の役割について理解を深め、乳児保育の計画を作成し、保育の内容や方法、環境構成や観察・記録等について学ぶ。 4. 職員間・保護者・地域関係機関など連携や協働のなかで行われる乳児保育の実践のあり方を理解できる。
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1) / 1. 知識・理解を応用し活用する能力-(2) / 2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(1) / 2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(2)
授業時間外の学習 【予習】	〈予習〉 授業中に次の授業内容（予習課題）を提示します。 授業内容は、翌週以降に小テストなどにより確認を行います。復習をしっかりとるようにしてください。
授業時間外の学習 【復習】	〈復習〉 授業中に次の授業内容（予習課題）を提示します。 授業内容は、翌週以降に小テストなどにより確認を行います。復習をしっかりとるようにしてください。
課題に対する フィードバック	小テスト、レポート、最終試験は評価後、解説をします。
評価方法・基準	以下の項目に基づいて評価します。 1) 学習意欲（授業中）-50点 2) 小テスト及びレポート-20点 3) 最終試験-30点
テキスト	『新・基本保育シリーズ 15 乳児保育1・11』、中央法規 著者：公益財団法人児童育成協会＝監修／寺田清美、大方美香、塩谷香＝編集 発行日：2019年3月 1日
参考書	適宜紹介します。